

市立幼稚園における特別支援教育等に関する検討委員会【参考資料】

これまでの取り組み

特別支援教育の推進に関する取り組み

①特別支援教育コーディネーターの配置

・市立幼稚園では、特別な教育的支援を必要とする園児に対して、長期的支援による一貫した支援を行うために、特別支援教育コーディネーターを中心に個別の教育支援計画を作成し、保護者と共有しながら一人ひとりの状態に応じた支援を行っている。

②「ことばの教室」による指導

・碩台幼稚園及び向山幼稚園において、構音や吃音など、ことばの課題の改善を図ることで心と体の望ましい成長と発達を促すことを目的に、熊本市在住の年長児を対象として通級指導を行っている。

③「あゆみの教室」による指導

・川尻幼稚園において、学校教育を見据えた指導を行うとともに、円滑な移行を促すことを目的に、集団参加や人とかかわりなどに不安のある熊本市在住の年長児を対象として通級指導を行っている。

④外国籍幼児の受け入れ

・碩台幼稚園を中心に外国籍幼児を受け入れている。

碩台幼稚園（H28:10人、H29:7人、H30:11人、R1:9人、R2:5人）、楠幼稚園（R1:1人）。

・中国やベトナム、インドネシアなどが多い。

幼小連携の推進に関する取り組み

①幼小接続カリキュラム（アプローチカリキュラム・スタートカリキュラム）の活用

- ・幼小中カリキュラムの作成に活動できるよう、先進的な取組を整理し、平成30年度に「小中連携カリキュラム【熊本市スタンダード】」を作成し、熊本市ホームページに掲載。
- ・幼稚園は、熊本市立幼稚園研究会で作成したアプローチカリキュラムの実施、小学校は、作成委員によるスタートカリキュラムの作成と活用。

②幼小中連携の日における交流

- ・同一校区内の幼稚園・保育所・小学校・中学校がそれぞれの教育活動や地域内の子どもの実情について理解を深める場として、学期に1回（年3回）「幼小中連携の日」を設定し、学校及び園の連携を推進。
- ・各地域において、教員の相互授業参観や交換授業、情報交換会、研修会、子ども同士の交流活動、就学前幼児の小学校体験入学など、さまざまな取組をしている。
- ・幼小連携の日研修会による合同のテーマによる協議会や互いの授業・保育参観の実施。（小5年生と年長組 小1年生と年長組）

③幼児・児童との交流

- ・学校探検、活動交流（栽培活動、行事交流 遊び 昼休み等）など幼児・児童の交流

幼小連携の推進に関する取り組み

④指導要録の活用による引継ぎ

- ・入学児童について、幼児教育施設からの指導要録の写しを送付し、幼児期の育ちを伝え、教育内容のつながりを行っている。
- ・小学校では、入学児童に関して担当者を決め、移行支援シート及び教育支援計画を参考に、全ての園に連絡を取り、園からの情報を集め校内で共通理解を図っている。

⑤移行支援シートの活用による引継ぎ

特性の多様化や放課後等デイサービスの利用など新たなライフスタイルに応じて、子ども一人ひとりが状況に応じ自立し社会参加するために、また保護者が安心して子育てに取り組めるよう、関係機関がさらに連携を図り、支援を充実させることが求められている。

子どもに適した学びの場を選択できるように、これまで子どもが関わってきた各相談機関等の情報を、「個別の教育支援計画」や「移行支援シート」に記載し、情報を共有することで就学相談の充実を図る。支援を必要とする幼児児童生徒についての「移行支援シート」等を活用した引継率

校 種	R2年度 実績	R6年度 目標
園→小学校	68.4%	80.0%
小学校→中学校	63.3%	100.0%
中学校→進路先 (高等学校・特別 支援学校等)	49.6%	70.0%

(「移行支援シート」等を活用して引継ぎを行った幼児児童生徒数/
「個別の指導計画」「個別の教育支援計画」を作成している幼児児童
生徒数)

幼稚園教諭等の資質向上に関する取り組み

①幼稚園指導要領の確実な実施

幼稚園教育要領を基本にして、教育課程と指導計画を作成し、週案や日案をもとに、日々の保育を行っている。改訂に伴い、幼稚園教育において育みたい資質・能力及び幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を意識して、保育実践の振り返りや幼児理解に基づいた評価を通して、保育の改善を行い、教育要領の確実な実施につなげていく。

②研修による教諭等の指導力向上

ア 園内研修、

イ 研究保育の実施

ウ R 3 熊本市教育センター研究モデル園の指定

全園でテーマ「SDGs 地球にやさしい子どもを育てる」への取組

エ 市幼稚園研究会を組織し、6園がまとまって研究

オ 研究保育の公開-R 3年22回（7回はモデル校として幼保小への公開予定）

カ 実技研修1回（教育センター幼小合同研修会を兼ねる）

キ 班別研修4回

ク その他の研修会に参加し、実践研究を行う。

- ・市教育委員会主催の研修（地区別人権教育研究 特別支援教育）
- ・県国公立幼稚園研究会 ブロック研修 発表会
- ・県幼稚園教育理解推進事業（文科省）
- ・園長等研修会 主任等研修会
- ・研究協議会

幼稚園教諭等の資質向上に関する取り組み

③幼稚園教育要領等の理解促進

- ・各園、研究テーマを設定し、研究を深めている。その研究の過程で、幼稚園教育要領の理解促進を行っている。
- ・本年度は、6園すべて「SDG s 地球にやさしい子どもを育てる」というテーマのもと、取り組んでいる。（熊本市教育センター モデル園の指定）

④指導力向上

- ・上記のテーマをもとに、各園それぞれで園内研修を行い、研究保育を実践することで、幼稚園教育要領の確認ができています。
- ・他園にも呼びかけ、研究保育に参加している。
- ・市幼稚園研究会を組織し、6園がそれぞれの研究を紹介し合う場をもち、それぞれの指導力の向上を図っている。

⑤市幼稚園研究会

- ・研究保育・協議・・・年 6 回、毎回全教諭参加
- ・実技研修・・・年 1 回、全教諭参加（音楽研修 ICT 研修等）
- ・研究のまとめ集作成

⑥研究保育の実施及びその成果の発信

- ・R3年度は、研究テーマ「SDG s 地球にやさしい子どもを育てる」
- ・研究保育の公開 R3年度は、22回（7回はモデル校として幼保小への公開予定）

幼稚園教諭等の資質向上に関する取り組み

⑦家庭教育支援

・就学前手引書として「ピカピカ1年生カレンダー～入学へのアプローチ～」を作成。各学校で行われている就学時健康診断等の機会を利用し、内容を説明すると共に、就学前児童全員に配付し、小学校生活へのスムーズな橋渡しができるよう支援している。

その他、熊本市内の幼稚園、こども園、保育所、幼児に関する諸機関にも配付し、幼児教育機関と連携した取組ができるようにしている。

⑧未就学児の会

- ・親の子育て力向上のための活動を実施（保育参観 懇談会 保護者学習会 親子遊びの会等）
- ・月に一度未就学児及びその保護者を対象に、未就学児の会を開催し就園意欲を育てる。
（園庭開放 絵本読み聞かせ 折り紙遊び 親子運動遊び 運動会招待 体験入園等）

⑨地域との連携

- ・地域行事への参加交流
- ・幼稚園行事への地域の方々による参加による交流（運動会 バザー 昔遊びの会等）

預かり保育の実施

	預かり時間	実施日	H30		R1		R2		
			実施日	実績	実施日	実績	実施日	実績	平均/日
碩台	14:00～ 15:00	不定期	141	691	142	505	138	345	2.5
一新			136	902	132	569	133	542	4.1
向山			139	721	140	608	142	446	3.1
川尻			134	301	134	505	126	619	4.9
楠			141	1,241	120	647	122	940	7.7
隈庄	15:00～ 16:45	月～金	162	2,172	167	2,146	147	1,664	11.3
計			853	6,028	835	4,980	808	4,556	5.6

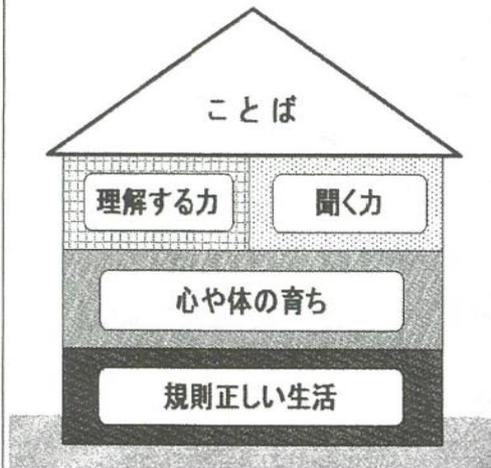
ことばの教室

ことばの育ち



ことばは、生活や遊びの中で、人とのやりとりを通し、心や体などの発達と関連しながら育っていきます。

ことばの教室では、子どもたちが自信をもって話すことができるように、全体の成長に配慮しながら支援をしていきたいと思っています。



このような子どもたちのために

- ① ある音が他の音に置き換わる。
例)「カラス」を「タラス」、「デンキ」を「デンチ」、「サカナ」を「チャカナ」などと言う。
- ② 発音が全体的に不明瞭である。
- ③ 話し始めの音が出にくかったり、繰り返したり、途中の音を伸ばしたりする。
- ④ 相手の話し声や周りの音が聞こえにくいようである。
- ⑤ その他、言い誤りや聞き間違いなど、ことばに関することで心配がある。

このようなことをしています



週1回程度、在籍する園から通います。

(通級制)

- ① 個別指導を中心に、遊びを取り入れた指導をします。
- ② 一人一人の子どもにあわせた指導を行います。
- ③ 保護者・所属園・関係機関との連携を図りながら指導を進めます。

☆ 指導の時間は、80分です。

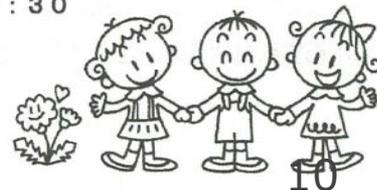
個別指導・グループ活動・保護者との懇談・ふれあい遊び等を行います。

指導時間

月曜日 ~ 金曜日

- ① 9:00
- ② 10:30
- ③ 13:00
- ④ 14:30

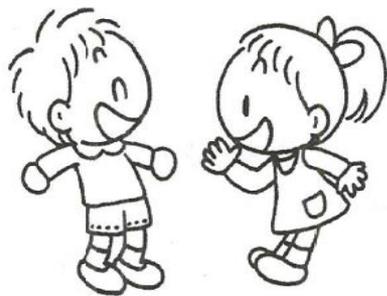
会議や研修、教育相談等のため、指導ができない時間帯があります。



~かかわりのポイント~

- ☆「そうだね。」と共感を示しながら、子どもの気持ちや話す内容をしっかり聞くようにしましょう。
- ☆「違うでしょ!」「ちゃんと言いなさい!」と言い直しはさせずに、さりげなく正しい発音で返してあげましょう。

ことばの教室



熊本市立向山幼稚園 五福ことばの教室
熊本市立碩台幼稚園 ことばの教室

通級の申し込みについて

願書受付：平成30年11月20日（火）
～ 平成30年12月7日（金）
（土・日・祝日を除く）

対象：熊本市在住の5歳児（就学前の1年間）
（平成25年4月2日～平成26年4月1日生まれ）

定員：120人程度

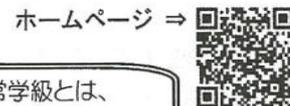
- ☆ 受付場所は、五福ことばの教室です。
- ☆ 必要書類はホームページをご確認ください。
- ☆ 12月中旬頃に面接を行い、通級を決定します。
- ☆ お問い合わせは、五福ことばの教室へ。

<五福ことばの教室（受付場所）>



向山幼稚園 五福ことばの教室

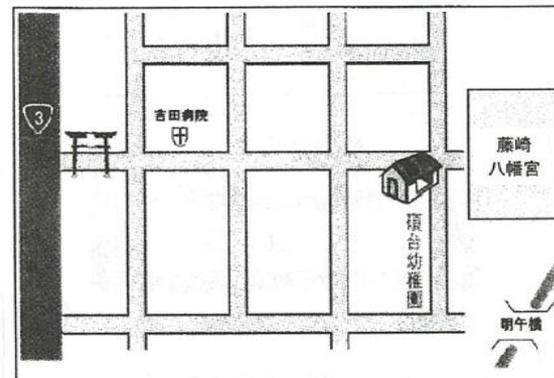
職員：7人
通級エリア（原則）：南区・西区・東区・中央区
〒860-0031 熊本市中央区魚屋町1-9
TEL/FAX (096) 356-8898



向山幼稚園 通常学級とは、
住所・電話番号が異なります。

碩台幼稚園 ことばの教室

職員：3人
通級エリア（原則）：北区・東区・中央区
〒860-0842 熊本市中央区南千反畑町15-23
TEL/FAX (096) 352-0600



あゆみの教室

あゆみの教室とは？

集団生活の中での困り感がある、就学に向けて学校生活や学習に不安がある、人とかかわりやコミュニケーションに心配があるなどのお子さんのための通級指導教室です。



あゆみの教室では…

- ☆ 「楽しい！」「できた！」という成功体験を積み重ね、「やってみよう！」という意欲を高めていきます。
- ☆ 集団生活に必要なことばやコミュニケーションの力を育てていきます。
- ☆ 一人一人の発達を踏まえ、得意なことや興味のあることを活かしながら指導をしていきます。
- ☆ 子どもたちが自分らしさを発揮し、自信をもって就学を迎えられるよう援助していきます。

このような心配はありませんか？

- 友達との遊びや活動に入れないことがある。
- 自分の気持ちをうまく表現できない。
- 生活習慣がなかなか身につかない。
(身支度、片付け、排泄など)
- 気持ちの切り替えに時間がかかる。
- 言葉だけの指示が通りにくい。
- 絵画や製作、運動などに取り組むことが難しい。
- 文字や数字、色の概念などが習得しにくい。
- 落ち着きがなく、じっとしていることが難しい。
- 集団や特定の場面で話せない。 など



このようなことをしていきます

週 1 回程度、在籍する園から通います。
(通級制)

- ① 個別指導を中心に、遊びを取り入れた指導をします。
- ② 個別の指導計画を立て、一人一人の子どもに合わせた指導を行います。
- ③ 保護者・所属園・関係機関との連携を図りながら指導を進めます。
- ④ 保護者の方の思いに寄り添いながらご希望に応じて就学先への移行支援を行っていきます。
- ⑤ 定期的な通級指導の他に、教育相談も行います。

☆指導の時間は、1回 90分です。

個別指導・グループ活動・ふれあい遊び、保護者との懇談等を行います。

指導時間

月曜日から金曜日

午前10:00～

午後13:30～

※会議や研修、教育相談等のため、指導を入れない時間帯があります。

あゆみの教室



通級の申し込みについて

申込方法：提出書類に必要事項を記入の上、
郵送での申し込みとなります。

申込期間：令和2年11月16日（月）～
11月30日（月）の消印まで有効

対象：熊本市内在住の5歳児
（平成27年4月2日～
平成28年4月1日生まれ）
＊就学前の1年間

通級期間：令和3年5月～令和4年3月

定員：24人程度

☆ 令和2年12月中旬頃、面接を行い、
通級を決定します。

☆ 必要書類は、募集要項またはホームページ
でご確認ください。

ホームページはこちら→



<問い合わせ先>

通級の申し込みについてのお問い合わせは
川尻幼稚園 あゆみの教室へ
TEL (096) 357-5454

<< 地図 >>



あゆみの教室は、
川尻幼稚園の敷地内にあります。
（門に向かって右側の2部屋です。）

熊本市立川尻幼稚園 あゆみの教室



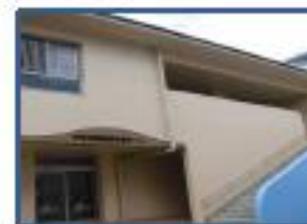
〒861-4115
熊本市南区川尻4丁目1-70
TEL (096) 357-5454
（あゆみの教室専用回線）

熊本市中央児童発達支援ルーム (つばめさんくらぶ)

熊本市中央区九品寺 1 丁目 13-20

(城東保育園 2 階)

- 電話番号 096-363-2800
- FAX 番号 096-363-2810



つばめさんくらぶってどんな所!?
一人ひとりの子どもの育ちを理解し、子ども自身の持つ『育つ力』を支え、伸ばします。親子の触れ合いを大切にしながら、子どもたちが自信を持って参加できる活動を準備します。

★モットーは…

安心できる環境の中で、自分らしさを発揮すること! 達成感、自己肯定感、信頼感を重ねて、たくましい土台を作ろう!

つばめさんくらぶの 1 日

- 9:30 来所 身支度
サーキット
- 10:00 お集まり
お返事 手遊び 絵本
触れ合い遊び など
- 10:30 主活動
音楽遊び リトミック
造形遊び 感覚遊び
運動遊び 戸外遊び
口を使った遊び など
- 11:30 給食
自由遊び
- 13:00 終了

★午後療育 14:00~16:00

※月に 1 回、保護者研修会『まんまびる』を行っています。

育ちにくさを抱える子どもさん、育てにくさを感じる保護者の皆さまに寄り添いながら、一緒に子育てしていきたいと思ひます。

- 定員 午前療育 10 名
午後療育 10 名 (月水木)
1~3 名 (火金)
- 対象 就学前の子どもとその保護者
- 実施時間 月~金曜日
(午前) 9:30~13:00
(午後) 14:00~16:00

★利用については…

- 受給者証が必要になります。手続きは、お住まいの地域の区役所福祉課で行います。
- 利用料と給食費が必要です。

スタッフ

所長 保育士 4 名 作業療法士 2 名
外部講師: 音楽療法士 リトミック講師
歯科医師 心理 保育士 など

障害福祉サービスの利用状況等

(1) 本市が保育所等に隣接して設置する児童発達支援ルームの利用者状況

(単位：人)

	登録者数			
		ルーム（療育）のみ利用	保育所等併用	幼稚園併用
R2年度（R3(2021).3.31現在）	157	22	88	47
R3年度（R3(2021).5.31現在）	97	7	53	37

※併設している保育園を利用し、ルームの利用時間のみ保護者が同席して療養を利用している児童は、令和2年度(2021年度)実績で6人。

(2) 本市における障害福祉サービス受給者証認定件数

(R3.4.30現在) (単位：人)

	0～2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	合計
R3.4.30現在	112	192	351	422	1,080
	112		965		1,080

市立幼稚園（令和3年度入園案内）

令和3年度
(2021年度)

熊本市立幼稚園

園児募集

遊びから学びへ
～これからの時代が求める教育の基礎づくり～

入園案内



各市立幼稚園のご紹介



碩台幼稚園 (中央区南千反橋町15-23 ☎352・0511)
質の高い幼児教育の実践を通して、心身ともにたくましく、心豊かな子どもを育てます。



一新幼稚園 (中央区新町1丁目10-38 ☎322・9525)
さまざまな体験を通して、気づき、考え、行動する子どもを育てます。



向山幼稚園 (中央区本山4丁目5-2 ☎358・8803)
地域や幼小連携を通して、人とかがわる力を育てます。

ことばの教室

5歳児を対象として、ことばの育ちに向けた個別指導(通級制)を行います。
 ・向山幼稚園五福ことばの教室(中央区魚崎町1丁目9番地 ☎356-8998)
 ・碩台幼稚園ことばの教室 (中央区南千反橋町15-23 ☎352-0600)



各市立幼稚園のご紹介



楠幼稚園 (北区林3丁目6-1 ☎338・8230)
のびのびと体を動かす遊びを通して、心身ともに明るくたくましい子どもを育てます。



隈庄幼稚園 (南区城南町富地1009番地 ☎0984・28・2143)
恵まれた環境の中で、豊かな心とたくましく生きる力を育てます。



川尻幼稚園 (南区川尻4丁目1-70 ☎357・4634)
恵まれた環境・地域の教育力を活かして感性豊かな子どもを育てます。

あゆみの教室

5歳児を対象として、社会性の育ちに向けた個別指導(通級制)を行います。
 ・川尻幼稚園あゆみの教室 (南区川尻4丁目1-70 ☎357・5454)

市立幼稚園（令和3年度入園案内）



子どもにこんな力を育てます ～遊びから学びへ～

- 身近にある物や自然、動物、道具にかかわって遊び、好奇心、探求心、思考力、想像力を育てます。
- 遊びや行事をとらして自主性・自発性を育てます。
- 絵本に楽しみ、豊かな心や言葉を育てます。
- リズム遊びや劇遊び、制作遊びを楽しんで、表現する力を育てます。
- 伸び伸びと体を動かして遊び、元気な体を育てます。
- 友達や小中学生、地域の方との交流で、人とかがわる力や思いやりの心、感謝の心を育てます。
- 自分でする経験を積み重ね、基本的な生活習慣や自立心を育てます。

市立幼稚園では
充実した教育環境の中で
一人一人の子どものよさと可能性を伸ばし
豊かな心情や健やかな体、
人とかがわる力や表現する力など
小学校以降の生活や学習につながる
「『生きる力』の基礎」を育成します。

募集人員

園名	人員	園名	人員
積台幼稚園	約80人	桶幼稚園	約100人
一新幼稚園	約140人	隈庄幼稚園	約120人
向山幼稚園	約100人	ことばの教室	約120人
川尻幼稚園	約65人	あゆみの教室	約24人

応募資格

- 5歳児
平成27年(2015年)4月2日生まれ～
平成28年(2016年)4月1日生まれまで
- 4歳児
平成28年(2016年)4月2日生まれ～
平成29年(2017年)4月1日生まれまで
- 3歳児
平成29年(2017年)4月2日生まれ～
平成30年(2018年)4月1日生まれまで

願書配布

令和2年(2020年)9月1日(火)～10月15日(木) **継続中**

願書受付

令和2年(2020年)10月1日(木)～10月15日(木) **継続中**
時間午前9時～午後5時
※開園日のみ受け付けます。
※定員に満たない場合は随時受け付けます。

入園説明会

各園にお問い合わせください。

新入園児面接

各園で12月上旬から1月中旬にかけて行います。

保育料・その他の経費

令和元年(2019年)10月より、保育料が無償化されました。
尚、教材費・牛乳代等の経費が毎月4,000円程度かかります。
隈庄幼稚園は給食費が3,000円です。(一部減免有)

- ※その他、詳しくは各幼稚園へお尋ねください。
- ※発着が際になるなどことばに関するご相談は、ことばの教室へお尋ねください。なお、募集は11月16日(月)から11月30日(月)まで行います。
- ※人とかがわる力など社会性の育ちに関するご相談は、あゆみの教室へお尋ねください。なお、募集は11月16日(月)から11月30日(月)まで行います。

障がい児の受け入れに関する補助等

熊本市

名称		対象	概要	受け入れ 障がい児数	要支援児1名 あたりの補助額
(県補助) 熊本県私立幼稚園等特別支援教育経費補助金	1号 認定	・私立幼稚園 ・学校法人立の幼保連携型認定こども園に在籍する児童	補助を受ける年度中の障がい児の教育に必要な経常的経費を補助。	2名以上	年額784,000円以内 ×受け入れ人数
		・学校法人立以外の幼保連携型認定こども園に在籍する児童	補助を受ける年度中の事業に要する職員(幼稚園教諭免許状又は保育士資格を有する者)の加配に必要な費用を補助。	1名	年額392,000円以内
(1名在園の場合市単独補助) (2名以上在園の場合国庫補助・1/3ずつ) 熊本市認定こども園特別支援教育事業費補助金	1号 認定	・学校法人立以外の幼保連携型認定こども園に在籍する児童	補助を受ける年度中の事業に要する職員(幼稚園教諭免許状又は保育士資格を有する者)の加配に必要な費用を補助。	2名以上	月額65,300円 ×受け入れ人数
		・学校法人立以外の幼保連携型認定こども園に在籍する児童	補助を受ける年度中の事業に要する職員(幼稚園教諭免許状又は保育士資格を有する者)の加配に必要な費用を補助。	1名	月額32,600円
(市単独補助) 熊本市私立保育所等障がい児保育事業補助金	2.3号 認定	中度より重い障がいをもつ児童	補助を受ける年度中の事業に要する経費で人件費又は障がい児保育に必要と認められる施設整備費、補助具等の購入費		月額90,600円
		中度障がいをもつ児童	補助を受ける年度中の事業に要する経費で人件費又は障がい児保育に必要と認められる施設整備費、補助具等の購入費		月額70,600円
		中度より軽い障がいをもつ児童	補助を受ける年度中の事業に要する経費で人件費又は障がい児保育に必要と認められる施設整備費、補助具等の購入費		月額40,100円

名称	概要	交付基準	補助率
(市単独補助) 熊本市私立幼稚園等特別支援教育助成事業費	私立幼稚園又は認定こども園の職員・利用者等を対象とする特別支援教育に関する研修事業に係る経費を補助。	予算の範囲で市長が認める額	1/2以内

北九州市

- 私立幼稚園特別支援教育助成事業
- 北九州市では、幼児期における特別支援教育の充実を図るため、私立幼稚園における特別な教育的支援を必要とする幼児（以下「要支援児」という。）の積極的な受け入れを支援するための補助制度を実施。
- 経緯
- ・平成27年4月に策定された「公立幼稚園の今後の方向性」に基づき、平成30年度末までに8園から4園に再編を行った（8園中4園閉園）
- ・平成28年度、市立幼稚園の再編に伴い、特別な支援が必要な幼児の受け入れについて積極的に取り組む園と協定を結び補助する制度を新設した（R3年度：12園）。
- 制度の概要
- ・要支援児の受け入れに積極的に取り組む園（以下「サポート園」という。）と北九州市が協定を締結。
- ・要支援児の受け入れに必要な加配教員を雇用しやすくするために、現在の県・市補助に加え、市独自のサポート園に対する補助を実施。
- サポート園（市と協定を締結する幼稚園）
- 要支援児の入園申し込みに対して、特段の理由が無い限り受け入れを行い、また、その旨を公表することを承諾し、北九州市と協定を締結する私立幼稚園

名称	概要	要支援児1名あたりの補助額
（市・県補助） 私立幼稚園振興助成補助金（特別支援教育推進費）	各幼稚園が行う、特別な支援を要する園児の教育に要する経費の一部を助成。学校法人は県が補助し、個人及び宗教法人は市が補助。	392千円（年額） ×受け入れ人数
（市単独補助） 私立幼稚園特別支援教育助成事業	サポート園（※1）に対し、加配教員の配置に係る費用（人件費）及び研修費の一部を助成。	300千円（年額） ×受け入れ人数

相模原市

- 相模原市私立幼稚園等支援保育事業補助金
- 障害児を私立幼稚園等に就園させ、健常児とともに統合保育を行うことにより心身の健全な発達を助長するとともに、障害児に対する健常児の正しい理解を深め、もって幼児教育のより一層の向上を図るため、特別支援教育を実施する私立幼稚園等の設置者に対し予算の範囲内で補助金を交付する。
- 制度の概要
- 支援保育コーディネーターを配置する私立幼稚園及び認定こども園に対し、支援保育体制の整備・支援保育の実施に要する人件費及び管理経費について補助を行う。

補助対象	概要	補助額
支援保育体制の整備に対する補助	学校法人以外の者が設置する幼保連携型認定こども園及び保育所型認定こども園を除き、	100,000円/ 1 園
支援保育の実施に対する補助	補助金算定対象児（市の定めるアセスメントシートで5点以上の児童）	168,000円/ 1 名 （1園当たり150万を限度）

他都市の状況

政令指定都市における市立幼稚園の再編等

(1) 市立幼稚園の設置継続 (14都市)

(定員充足率はR2.5.1現在)

番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14
都市名	札幌市	仙台市	新潟市	相模原市	名古屋市	浜松市	京都市	大阪市	堺市	神戸市	岡山市	広島市	北九州市	熊本市
定員充足率	71.9%	44.0%	31.7%	9.7%	66.7%	49.7%	46.2%	68.6%	31.0%	49.9%	54.9%	46.7%	26.2%	33.7%
廃止・統合・再編計画等(園)	9→5	1	10→5	2→0	23→20	63→60	15	59→53	9→4	41→32	50	27→19	8→4	8→6
再編年度	R7年度末	特になし	R5年度末	R4年度末	R4年度末	R27年度以降	検討していない	H30年度末	R4年度末	R2年度末	地域別に検討	H27年度末	H30年度末	H29年度末

(2) 市立幼稚園を全廃 (6都市)

番号	1	2	3	4	5	6
都市名	さいたま市	千葉市	横浜市	川崎市	静岡市	福岡市
全廃年度	H29年度	H16年度	—	H21年度	H26年度	H30年度